

となりの部屋の

マロ恵さん

成人向



彼女はマロ恵さん

僕の住んでるアパートの
お隣さんだ

ねえ、
シヨウちゃん

一緒に
映画観よ

とてもだらしなくて
友達も全然
いないらしい彼女は
唯一親しい僕に
何かと好意的だ





マロ恵さんはネットで
変な服を買う

今日は凄く
エッチな服を着てる
僕はドキドキしながら
映画と一緒に観た

ところがマロ恵さんは
映画を観ないで
胸を押し付けてきたり
僕のおそこを
触ったりしてきた

僕は我慢出来なくなつて
マロ恵さんの
大きな胸を揉んだ
凄く柔らかい



そしたらマロ恵さんは
いきなりキスをして来た



キスをしながら僕をあそこを
チャックから出して触り始めた



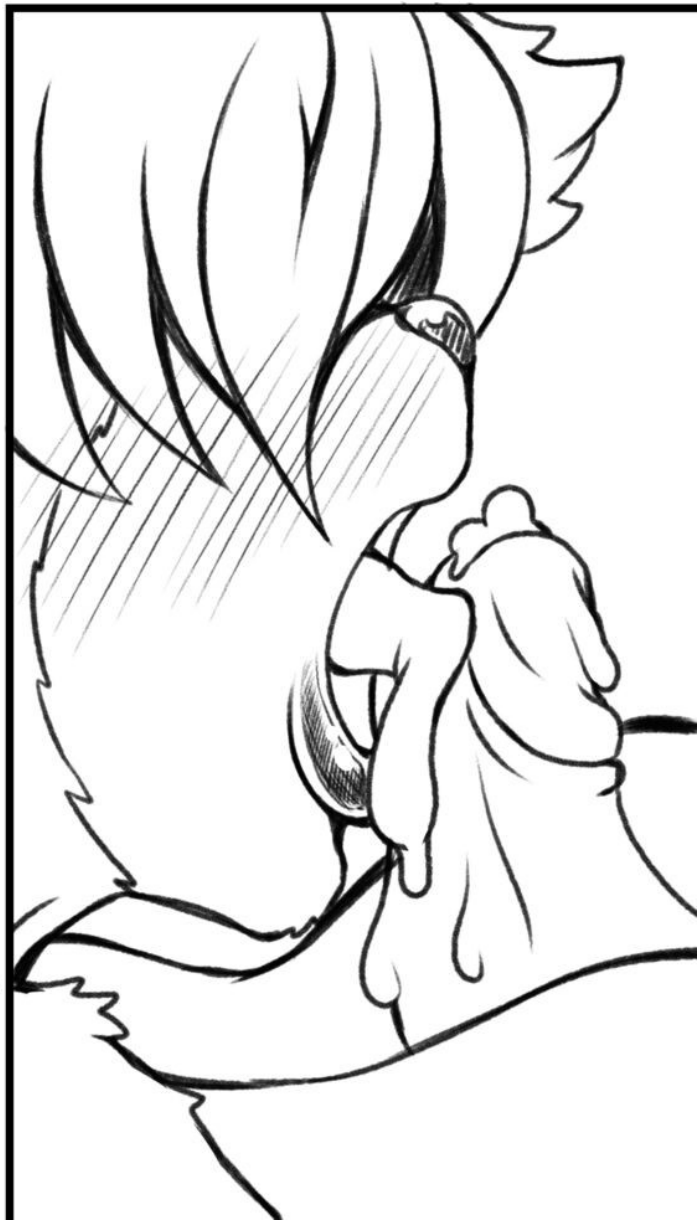
大きくなった
僕にあそこを見ると
マロ恵さんは僕をベッドに
押し倒して自分の服を
脱ぎ出した

完全に
セックスする流れだ

僕は物凄く
興奮した

マロ恵さんは大きな
おっぱいで僕をあそこを
挟んだり舐めたり
しゃぶったりした

「頭が痺れるぐらい
気持ちいい」






マロ恵さんはギンギンになった
僕のおそこの上にもたがった

遂に本当に
セックスするんだ

ゴッゴッ..
ッ...

大きなマロ恵さんの
おそこは僕のおそこを
「ゴユプッ」と呑み込んだ



僕は初めてのセックスで
すぐにイッてしまった
僕は中出しで頭が
真っ白になったけど
マロ恵さんは全然動きを
止めなかった

激しく喘ぎながら
まるでゴムボールのように
夢中になって僕の上で
跳ね回った

僕はそのまま休む事無く
セックスされて
7回目の射精をした所で
気絶した

目を覚まして
僕らは全然観てなかった映画を
見直す事にした

でも僕らはまた映画を観ないで
キスしたり胸やあそこを
触り合っていた

我慢出来ずに僕らはまた
ベッドの上でセックスを始めた
今度は僕からも夢中になって
マロ恵さんとセックスした

マロ恵さんの身体は
とろけるように柔らかい

僕らのセックスは
夜まで続いた

僕はそのままマロ恵さんの部屋に
泊まる事にした

その夜も
無茶苦茶
セックスした





